

2014年度活動実績報告



CRAFTMAN世田谷



被災地子供と一緒にものづくり&災害時に役立つ木工技術

2014年度活動状況について

➔ **実地日** 2014年7月20日（日）

➔ **場所** 山岸団地仮設住宅夏祭り

➔ **実施目的**

子供達へのキッズチェア

プレゼント&ペイント大会

仮設住民との交流



2014年度活動状況について

➔ 実施日 2014年9月12日～13日

➔ 実施場所 陸前高田市及び大船渡市

➔ 実施目的



キッズハウス製作

- 昨年台風のため頓挫していた、陸前高田市仮設店舗「ヤルキタウン」敷地内のキッズハウスの完成。

メンテナンス

- 2012年に大船渡市仮設店舗「プレハブ横町」に製作したベンチとテーブル、約30脚のペイントなどの補修メンテナンス。
トイレの壁画製作など

店舗設置家具製作

- 大船渡市仮設店舗KAIZAN内にて使用する店内設置家具作成の依頼を受け製作

完成！



参加者の声

女性 50代 リピーター

前回からの継続、フォローと新規の企画が織り交ぜてあり楽しんで参加できた

女性 40代 リピーター

3年経った被災地のリアルな現状を体感できたことと、地元の方との心の通った交流ができ良かった

男性 30代 初参加

ものづくりを通じてのボランティアは形に残り充実感があつた。震災の被害の大きさを地元の人から直接、映像や実体験として聴くことで、被災地の方達は今もまだ闘っているのだと実感した

女性 20代 初参加

CRAFTMAN世田谷白井さんのいうように、受け身にならず積極的に行動を起こしてみることが

今後の目標だ。

世田谷区への還元

木工による災害 予防計画

- 復興という場面だけではなく、災害発生時大難を小難にするための対策を木工という技術を用いて行うこと。→例えば自宅の家具転倒防止措置など、具体的で簡単にできる予防法の伝授を行う。



木工支援ベースの 活用法を仮設住宅の 住民から学ぶ

- * 下北沢商工会等に設置させて頂いている木工支援ベース。被災地では支援した電動工具を活用し、遊び場が流されてしまった子供達の為に住民が素晴らしい木のおもちゃを作って提供していた。想像力を働かせることで震災、復興時の電動工具の可能性を被災地より学ぶことができる。



復興に役立つ木工技 術及びリーダー育成

- 9月に開催した被災地支援へのバスツアーのように参加者全員で一つの物を協力して作り上げるという、コミュニケーション能力の向上を目的としたイベントを世田谷地域の人を対象に開催をしていく

